

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2018年3月

### 内政

- 1日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、憲兵隊対テロ・ユニット設置25周年記念、アフガニスタンの国際治安支援部隊（ISAF）の活動への部隊派遣15周年記念及びアフガニスタンの第8次「確固たる支援任務（RSM）」の部隊派遣の派遣式典に出席。
- 8日、ザグレブ市において、「国際女性の日」に合わせ、イスタンブール条約の批准やムルガニッチ人口・家族・青年・社会政策相の辞任等を求め、数千人がデモ。
- 10日、第7回社会民主党（SDP）党大会が開催され、新しい党則や新政策プログラム「より良い社会のために」が採択。
- 13日、プレンコビッチ首相は、ザグレブ郊外で発生した地滑り（犠牲者なし）で被害を受けた家屋に対し支援を提供する旨発表。
- 18日、リカ＝セニ県のペルシッチでリカ川が氾濫し、30軒の家屋が浸水。また、ヤセノバツでもサバ川が氾濫。
- 20日、クロアチア民主同盟（HDZ）幹部会において、女性に対する家庭内暴力を防ぐためのイスタンブール条約の批准に関する投票が実施され、賛成多数。
- 20日、野党は、ダリッチ副首相兼経済・中小企業相に対する不信任決議案を提出。
- 22日、政府は、議会にイスタンブール条約の批准に関する法案及び解釈声明を提出。
- 24日、ザグレブ市において、イスタンブール条約の批准に反対して数千人が抗議デモ。
- 27日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議会議長、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相等の同席のもと国防評議会が開催され、多目的戦闘機の調達に関し、イスラエルの提案の選定を政府に提言。
- 28日、スラボンスキ・ブロッドにおいて、油分による水質汚染に伴う断水により、9万人に影響。
- 29日、クロアチア政府は、国防省の多目的ジェット戦闘機調達に関し、イスラエルのF-16戦闘機を調達する旨閣議決定。

### 外交

- 1日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相、ヤンドロコビッチ議会議長及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアに来訪したザリー

フ・イラン外相と会談。また、グラバル＝キタロビッチ大統領、ダリッチ経済・中小企業相、ザリーフ外相は、クロアチア・イラン・ビジネスフォーラムに出席。

● 2日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、キルレインNATO特殊戦本部司令官と会談。

● 5日、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアに来訪したデービス英EU離脱相とEU離脱交渉等について会談。

● 5－6日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ボスニア・ヘルツェゴビナ（BH）を訪問。5日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、チョービッチBH大統領評議会議長（クロアチア系）らと会談。6日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブチッチ・セルビア大統領、チョービッチBH大統領評議会議長、イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバー（ボシュニャク系）及びイバニッチBH大統領評議会メンバー（セルビア系）との3カ国大統領会談、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチア・BH・セルビアの3カ国外相会談にそれぞれ出席。

● 7日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、ハンガリーを訪問し、シミチコー・ハンガリー国防相と会談。

● 7日、クロアチア経済・中小企業省において、クロアチア・セルビアの経済協力の実施・強化に係る合同委員会が開催。両国の経済開発や二国間経済協力の見通し等について情報交換。

● 8日、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びマリッチ財務相は、クロアチアに来訪したエッティンガー欧州委員（予算・人事担当）と会談。

● 9日、グラバル＝キタロビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議会議長、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアに来訪したメレシュカーヌ・ルーマニア外相と会談。

● 11－14日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、アルゼンチンを訪問。12日、マクリ・アルゼンチン大統領と会談。13日、クロアチア・アルゼンチン経済フォーラムに出席。

● 12－13日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、マケドニアを訪問し、イヴァノフ・マケドニア大統領、ジャフェリ・マケドニア議会議長、ザーエフ・マケドニア首相及びディミトロフ・マケドニア外相らと会談。

● 13－14日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、コソボを訪問し、ヴェセリ・コソボ議会議長、ハラディナイ・コソボ首相及びパツォーリ・コソボ副首相兼外相と会談。

● 15日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、アルバニアを訪問し、ブシャティ・アルバニア外相と会談。

● 15－16日、オファーガル・アイルランド下院議長はクロアチアを訪問し、15日、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。16日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相と会談。

● 15－18日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、チリを訪問。15日、クロアチア・チリ経済フォーラムに出席。16日、ピニェラ・チリ大統領と会談。17日、プンタ・アレナ

スを訪問し、ビラン・マガヤネス州知事らと会談。19日、クロアチア系コミュニティと対話。

●19日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ブリュッセルで開催されたEU外相会合に出席。

●19－20日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブラジルを訪問し、アルキミン・サンパウロ州知事と会談。

●22日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、プーチン露大統領と電話会談を行い、大統領再選に関して祝意を伝えるとともに、クロアチア訪問を招待。

●23日、プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで開催された対露政策等を議論するEU首脳会合に出席。

●23日、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相は、ザグレブにおいて、ペンデシュBH国防相と自然災害に関する協力等について会談。

●26日、ヤンドロコビッチ議会議長及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、クロアチアに来訪したメサヘル・アルジェリア外相と会談。

●26日、プレンコビッチ首相は、4日に英国で発生した元ロシア情報機関員襲撃事件を受け、クロアチア駐在のロシア外交官1名を追放すると発表。

●26日、パビッチ労働・年金システム相は、レーヴァ・ウクライナ社会政策相との間で、労働関連条約の締結に向けた覚書に署名。

●28日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、アイルランドを訪問し、コーヴニー・アイルランド外務・貿易相と会談。

●30日、ロシア政府は、クロアチア人外務・欧州問題省幹部（元モスクワ大使館員）1名をペルソナ・ノン・グラータとした。

## 経済

●2日、クロアチア議会は、中小企業による中古設備の購入支援、情報通信分野における起業支援、国有財産を活用した投資に対する支援等を内容とする、投資促進法改正案を承認。

●3日、リエカ市でクルク島の浮体式LNGターミナル建設事業計画に反対するデモが開催され、数千人が参加。

●7日、欧州委員会は、冬季経済予測を公表。クロアチア経済は今後も堅調な成長が続くとみられるものの、構造改革の遅れにより潜在的な成長力は依然として弱く、2018年は2.8%、2019年は2.7%と成長のペースは鈍化すると予測。

●8日、クロアチア政府は、ビジネス環境の改善に向けたアクション・プランを決定。政府が企業に課している事務手続きの簡素化や財務負担の軽減等により、企業全体で年間625.9百万クーナ（約113億円）のコスト削減を図ろうとするものであり、今後数か月以内に実施する予定。

- 8日、クロアチア政府の環境影響評価委員会は、クルク島の浮体式LNGターミナル建設事業計画に関して、環境保護及びモニタリングの措置が適切に取られており、環境的に受入可能である旨決定。
- 8日、クロアチア統計局は、2017年の貿易統計を発表。輸出総額は1043億クーナ（前年比12.5%増）、輸入総額は1627億クーナ（同9.6%増）、貿易赤字は583億クーナ（同4.7%増）。
- 9日、ブトコビッチ海事・交通・インフラ大臣は、セルビアとのザグレブ・ベオグラード間の鉄道輸送の効率化に向けた協力に関する覚書に署名。
- 15日、信用格付会社ムーディーズは、クロアチアのソブリン格付を公表。財政再建やEUの支援による制度強化が進む一方、潜在成長力の弱さ、構造改革の進展の遅さ、EU基金の吸収の弱さ等が見られることから、「Ba2」格に据え置くとともに、見通しについても「安定的」のまま据え置き。
- 16日、パビッチ労働・年金システム大臣は、年金改革に係る作業を3か月以内に終え、年内の立法化を目指す意向を表明。
- 16日、クロアチア議会は、戦略投資プロジェクトの実施に係る手続きの迅速化と、選定要件の緩和（現行の投資総額150百万クーナ以上から75百万クーナに引下げ、事業に対する銀行保証の引下げ等）を目的とする、関連法の改正案を承認。
- 21日、アグロコル社のペルシュコ管財責任者は、同社の露ズベルバンクに対する負債を認める一方、現在、同社と債権者団体との間で進められている和解交渉にズベルバンクが復帰するとともに、ズベルバンクが同社に対する訴訟を取り下げることで合意した旨発表。
- 22日、クロアチア政府は、金融市場の透明性と投資家保護の強化等に係るEU指令を導入するための、新たな法案を国会に提出。
- 23日、信用格付会社S&Pは、クロアチアのソブリン格付を公表。景気回復が続き、財政状況が改善していることなどから、従来の「BB」格から「BB+」に引き上げ、見通しについては、引き続き「安定的」と評価。
- 26日、クロアチア政府公共入札監視委員会（DKOM）は、オーストリア企業及びイタリア・トルコのコンソーシアムによる、ペリエシャツ橋及びアクセス道路建設事業の入札を巡る不服申立てを棄却する旨決定。
- 26日、ダリッチ経済・中小企業大臣は、クロアチア国内の造船プロジェクトに対する融資の安定性を確保するため、同省で基金を設立する作業を進めている旨言及。
- 27日、クロアチア統計局は、2月の失業率を公表。失業率は12.3%と、前月（12.5%）から低下。
- 28日、ウリヤニク造船所の経営・監督委員会は、同社の資本増強に向けた戦略パートナーの選定に係る入札の結果、地元企業のケルマス・エネルギー社を選定したことを発表。
- 29日、クロアチア政府は、金融機関9行によるクロアチア道路公社、リエカ・ザグレブ高速道路会社等に対する総額18億ユーロの融資について、政府保証を付与することを決定。

● 30日、クロアチア国立銀行は、2017年の経常収支を公表。貿易収支が大幅な赤字となる一方、観光を中心とするサービス収支の黒字が上回ったことなどから、経常収支は18.4億ユーロの黒字。

### 主要経済指標

(2018年月次データ, 政府統計局発表)

輸出総額(1月)	輸入総額(1月)	貿易赤字(1月)	工業生産高(2月) 対前年同月比	インフレ率(2月) 対前年同月比	失業率(登録制)(2月)
78億クーナ 10億ユーロ (3.2%)	129億クーナ 17億ユーロ (14.6%)	51億クーナ 7億ユーロ (+37.4%)	+3.3% (1月:-0.4%)	+0.8% (1月:+1.1%)	12.3% (1月:12.5%)

※輸出総額, 輸入総額, 貿易赤字の括弧内の数字は, 対前年同月比。

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。